

176

卷之三之目表

第二編	公益ニ關スル重罪輕罪	一葉
第一章	皇室ニ關スル罪	同葉
第二章	國事ニ關スル罪	五葉
第一節	内亂ニ關スル罪	六葉
第二節	外患ニ關スル罪	十七葉
第三章	靜謐ヲ害スル罪	廿三葉
第一節	兇徒聚衆ノ罪	同葉
第二節	官吏ノ職務ヲ妨害スル罪	廿七葉
第三節	囚徒ヲ脱走スル罪及ヒ 罪人ヲ檢査スル罪	三十一葉
第四節	附加刑ノ執行ヲ造ル罪	四十二葉
第五節	私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ及ビ所有スル罪	四十二葉
第六節	往來通信ヲ妨害スル罪	四十六葉
第七節	人ノ住所ヲ侵スル罪	五十二葉
第八節	官ノ封印ヲ破棄スル罪	五十七葉
第九節	公務ヲ行フヲ拒ム罪	五十九葉

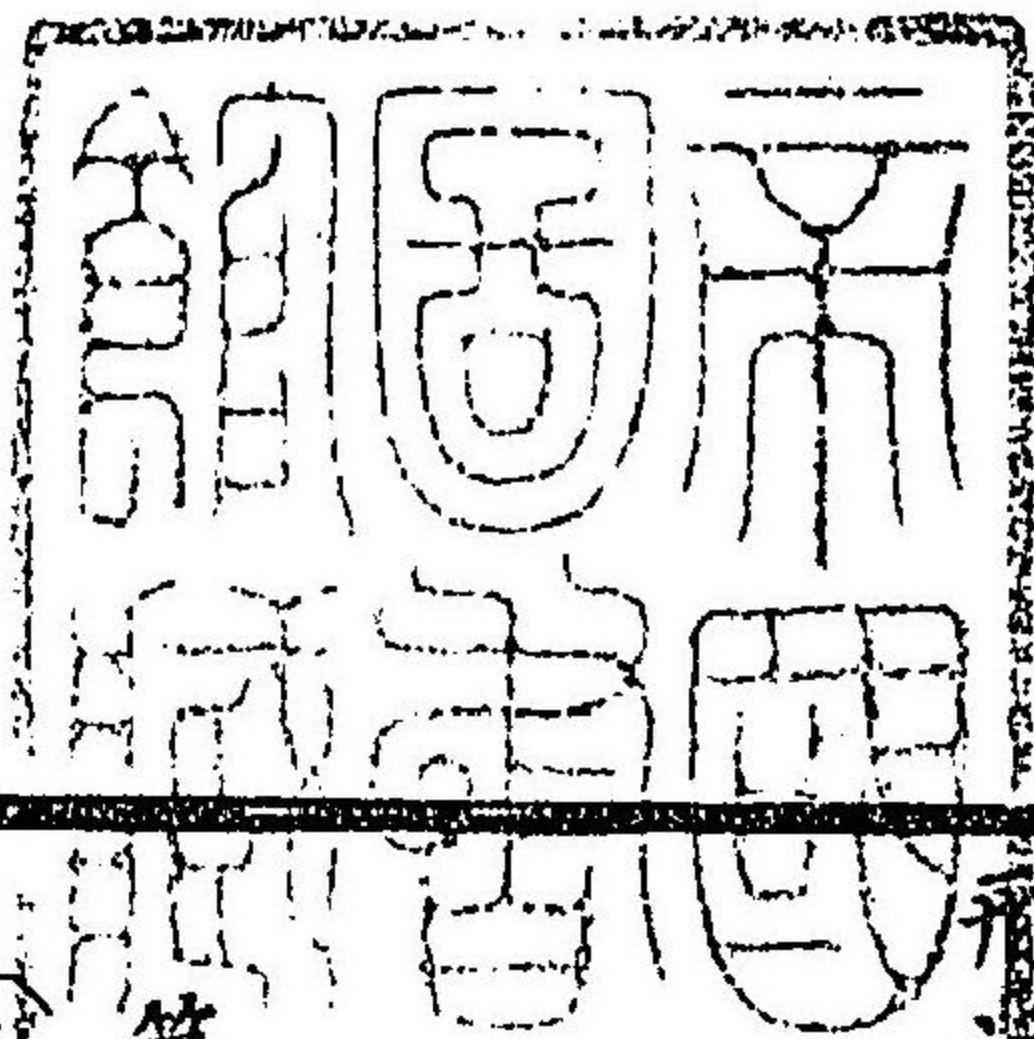
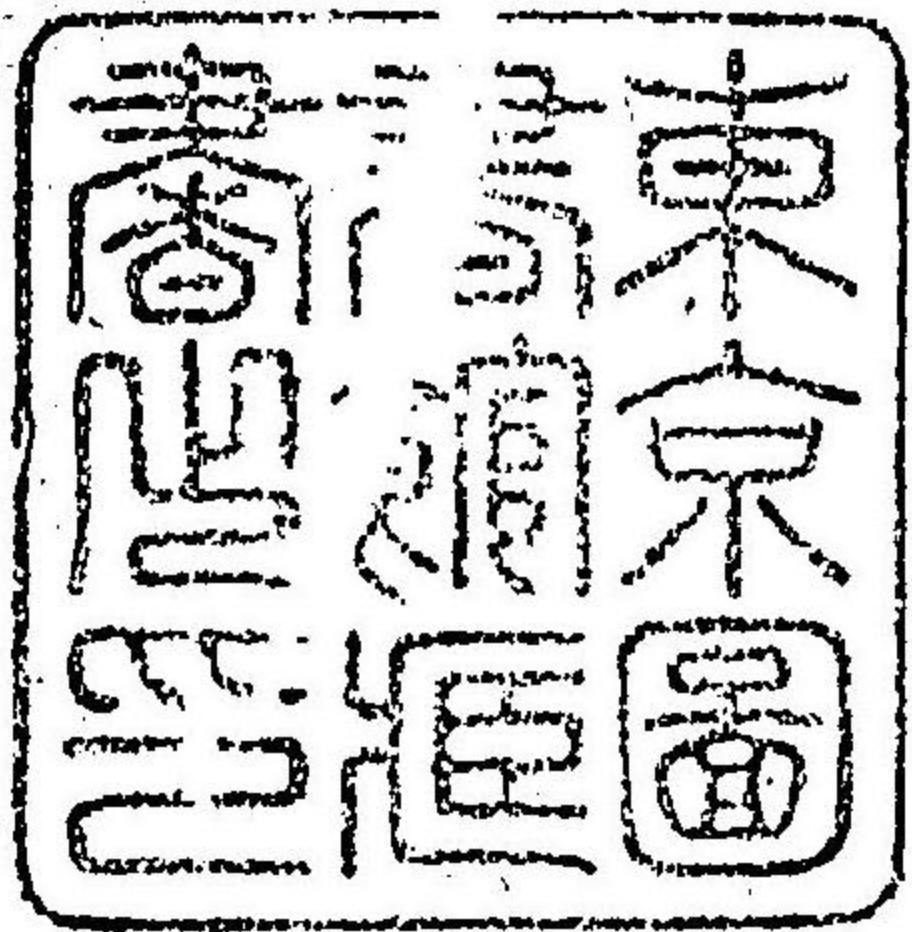
東京圖書館

和書門	類	一函	二架	六號	七冊
-----	---	----	----	----	----

刑法義解

太田聿郎註解

三



刑法義解卷之三

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪

森 權六  
山住才三  
太田聿郎 註解

校正

註 前編ハ刑法ノ全體ヲ總括スルノ法則ヲ掲ケ本編

以下第四編ハ罰スヘキ所為ト之ニ適用スヘキ刑

ヲ定ムル者ナリ而シテ此編ハ公同ノ利益ニ關係

スル各種ノ重輕ノ犯罪及ヒ其刑ヲ記載ス

第一章 皇室ニ對スル罪

註皇室ニ對スル罪トハ天皇三后皇太子皇族及ヒ

山陵ニ對シテ犯ス所ノ罪ヲ云フ

抑モ本朝ハ皇統連綿萬古不易ニシテ天皇ハ一

國ノ元首大權ノ主宰ナレハ最モ尊重セサル可

カラサル者ナリ故ニ皇室ニ對スル罪ハ國安ヲ

害シ公益ヲ傷ル重且ツ大ナル者トス是レ此章

ヲ本編ノ始メニ掲載スル所以ナリ

第百十六條

天皇三后皇太子ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス

註天皇三后及ヒ皇太子ニ對シテ犯シタル罪ハ固ヨリ

通常ノ刑ヲ以テ罰スヘキ者ニアラス故ニ本條ニ於

テ特ニ之カ刑ヲ嚴ニシ天皇三后及ヒ皇太子ニ對シ

謀故殺毆打創傷幽閉其他尊體ニ危害ヲ加ヘ又ハ加

ヘントシタル者ハ其罪ノ輕重ヲ問ハス悉ク之ヲ死

刑ニ處ス蓋シ此條危害ヲ加ヘントシタル者トハ即

チ罪ヲ犯サント謀リタル者又ハ其豫備ヲ為シタル

者若クハ已ニ其事ヲ行ヒ未タ遂ケサル者ト雖モ猶

ホ同一ノ刑ニ處スルヲ云フ此レ其刑頗フル慘酷ニ

過タルカ如シト雖モ決シテ然ラス若シ之ヲ嚴ニシ

未然ニ豫防セサル者ハ我國體ニ於テ實ニ容易ナラサル患害ヲ生スルヲ以テナリ  
天皇トハ太上天皇ヲ總稱シ三后トハ太皇太后皇太  
皇后皇后ヲ云フ

第百十七條

天皇三后皇太子ニ對シ不敬ノ所為アル者ハ三月以上  
五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰  
金ヲ附加ス

皇陵ニ對シ不敬ノ所為アル者亦同シ

註本條ハ天皇三后皇太子及ヒ皇陵ニ對シ尊敬ヲ缺ク

ノ罪ヲ罰スルヲ云フ不敬ノ所為トハ罵詈誶誹謗侮辱  
等ノ舉動アルヲ云フ此ノ所為ハ其御前ニ於テスル  
者ト歪ラサル者トヲ分タス一切本條記載スル所ノ  
刑ニ處スル者トス蓋シ其御前ニ於テスル者ハ直接  
ニ係リ否ラサル者ハ間接ニ係ルヲ以テ自カラ輕重  
ノ差アル如シト雖氏不敬ノ所為ハ言語若クハ形容  
ニ屬スル者ナレハ法律ニ於テ之カ輕重ヲ豫定シカ  
タシ故ニ裁判官ヲシテ其情狀ヲ圖リ本條ノ刑期內  
ニ於テ適宜之ヲ處斷セシム但シ御前ニ於テセサル  
不敬ノ所為トハ刊行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演說等

ヲ以テ侮辱シタル者ヲ云フ  
官吏ノ職務ニ對シ侮辱シタル罪ハ第百四十一條ニ  
記載シ人民ニ對シ公然罵詈嘲弄シタル罪ハ第四百  
二十六條第十二項ニ記載ス之ヲ本條ニ比スレハ其  
權衡大ニ異ナリ是レ特ニ皇室ニ對スル罪ハ其刑ヲ  
嚴ニスル所ナリ  
皇陵ニ對シ不敬ノ所爲トハ皇陵ヲ毀損又ハ汚瀆シ  
若クハ發掘スルノ所爲ヲ云フ此所爲アル者ハ前項  
ト同一ノ刑ニ處ス但シ人民ノ墳墓ヲ發掘スルノ罪  
ハ第百六十五條ニアリ人民ノ墓碑セキヲ毀損シ又ハ

汚瀆スルノ罪ハ第四百二十六條第十項ニアリ之ヲ  
本條ニ比スレハ其權衡大ニ異ナリ是レ特ニ皇陵ニ  
對スル罪ハ其刑ヲ嚴ニスル所ナリ  
第百十八條

皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處ス其危害ヲ  
加ヘントシタル者ハ無期徒刑ニ處ス

註本條ハ皇族ノ身體ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘント  
シタル罪ヲ云フ其危害ヲ加ヘタル者ハ其罪ノ輕重  
ヲ問ハス悉ク之ヲ死刑ニ處シ其危害ヲ加ヘントシ  
タル者ハ其罪ノ輕重ヲ問ハス悉ク之ヲ無期徒刑ニ

處ス此レ皇族ニ對スル罪ハ天皇三右皇太子ノ尊體ニ對スル罪ニ比スレハ其刑自ラ輕シ此レ固ヨリ當然ノ事ナリ

皇族トハ皇女皇孫皇妃諸親王家ヲ云フ

第百十九條

皇族ニ對シ不敬ノ所為アル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

註本條ハ皇族ニ對シ不敬ノ所為アル者ヲ罰スルヲ云フ皇族ニ對スル不敬ノ所為ヲ罰スル刑ハ第百十七條ニ定ムル所ニ比スレハ其刑輕シ此亦タ同條ニ

説明スル如ク天皇ニ對スル罪ト差等ヲ設タル者ナリ但シ皇族ノ墳墓ニ對スル罪ハ第百六十五條ニ照シ處斷スヘキ者トス

第百二十條

此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

註本條ハ總則第三十八條ニ定ムル所ノ規則ニ基キ定ムル者ニシテ此章中即チ第十七條及ヒ第十八條ニ記スル輕罪ノ刑ニ處スル者ハ監視ニ付シ以テ其再犯ヲ豫防ス蓋シ重罪ノ刑ニ處スル者ハ第三十七條

第三十九條ニ定ムル如ク別ニ宣告ヲ為サスシテ監視ニ付スル者ナリ且ツ死刑及ヒ無期徒刑ハ固ヨリ監視ニ付スヘキ者ニ非サレハ此條ニ於テ別ニ監視ノ下ヲ記セス以下各本條ニ於テモ輕罪ノ刑ニ處スル者ヲ監視ニ付ス時ニ限り之ヲ明記スル者ハ皆同上ノ理由ナレハナリ

第二章 國事ニ關スル罪

〔註〕本章ハ國事ニ關スル罪ノ輕重及ヒ其刑ヲ定ム國事犯トハ政府ニ對スル犯罪ニシテ多クハ時勢ノ變遷政體ノ方向ニ關シ其意見ヲ異ニスル

ヨリ國憲ヲ犯シ罪辟ニ陥ル者ナリ故ニ其外形ハ社會ノ治安ヲ害スル最モ大ナリト雖モ其心術ヲ釋ヌレバ常事犯ノ如ク一身ヲ利シ私慾ヲ逞フセント欲シ惡業ヲ為ス者トハ其情狀大ニ異ニシテ其目的タルヤ國政ヲ改良シ人民ニ幸福ヲ與ヘントスルニ出ツルヲ以テ道德ヲ損スルノ點ニ至テハ小ナリトス爰ヲ以テ國事犯ハ常事犯ト同一視ス可カラサレハ死刑ノ外ハ流刑禁獄ノ寬刑ニ處シ其役ニ服セシメサル者トス

又々國事犯罪ニ二種アリ其一國ノ内部ノ安寧ヲ害スル罪其二國ノ外部ノ安寧ヲ害スル罪是ナリ故ニ此章之ヲ分テ二節ト為ス

第一節 内亂ニ關スル罪

〔註〕内亂ニ關スル罪トハ即チ國ノ内部ノ安寧ヲ害スル罪ニシテ内國ノ騷亂ヲ起スヲ云フ

第百二十一條

政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スル一ヲ目的ト為シ内亂ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處ス

二 群衆ノ指揮ヲ為シ其他樞要ノ職務ヲ為シタル者ハ無期流刑ニ處シ其情輕キ者ハ有期流刑ニ處ス

三 兵器金穀ヲ資給シ又ハ諸般ノ職務ヲ為シタル者ハ重禁獄ニ處シ其情輕キ者ハ輕禁獄ニ處ス

四 教唆ニ乘シテ附和隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

〔註〕本條ハ内亂ニ關スル罪ノ目的及ヒ其處斷法ヲ定ムル者ナリ政府ヲ顛覆スルトハ例ヘハ君主獨裁ノ政府ヲ廢シテ立憲政治ノ政府ヲ立ントシ或ハ立憲政



治ノ政府ヲ廢シテ共和政治ノ政府ヲ立ントシ或ハ  
皇位ヲ篡奪セント欲スルノ類邦土ヲ僭竊スルトハ  
例ヘハ内國ノ一地方ニ割據シ現政府ノ法令ヲ拒ミ  
獨立ヲ謀ラントスルノ類朝憲ヲ紊亂スルトハ例ヘ  
ハ皇統ヲ嗣クヘキ儲貳ノ順序ヲ變更シ他ノ皇子ヲ  
立ント欲シ又ハ國會ヲ開設セン為メ暴行ヲ以テ政  
府ニ強請シ或ハ郡縣ノ制ヲ廢シ封建ノ制ト為サン  
ト欲シ其他法律制度ヲ改革セント欲スルノ類此等  
ノ目的ヲ以テ暴徒ヲ集メ干戈ヲ動シ内國ノ騷亂ヲ  
起シタル者ハ其罪ノ輕重ニ依リ左ノ區別ニ從ヒ之

ヲ處斷ス

一首魁トハ自ラ主トナリ内亂ヲ起ス者ヲ云ヒ教唆  
者トハ他人ヲ煽動シテ内亂ヲ起サシムル者ヲ云  
フ騷亂ヲ醸成シ國安ヲ妨害スル根元ナレハ其罪  
最モ大ナリ故ニ死刑ニ處ス

二群衆ノ指揮ヲ為シタル者トハ内亂ニ與シテ一軍  
一隊ノ長トナリ號令ヲ為シタル者ヲ云フ其他樞  
要ノ職務ヲ為シタル者トハ内亂ニ與ミシテ其機  
密ニ干與スル參謀等ノ職務ヲ行フ者ヲ云フ此等  
ノ者ハ首魁ヲ輔翼シ騷亂ヲ助成シタル者ナレハ

其罪重シト雖氏首魁及ヒ赦唆者ト同刑ニ處スヘ  
カラス故ニ其情重キ者ハ無期流刑ニ處シ其情輕  
キ者ハ有期流刑ニ處ス  
三兵器金穀ヲ資給スル者トハ現ニ自カラ騷亂ニ與  
カラスト雖モ銃砲彈藥刀槍金銀糧食等ヲ資給ス  
ル者ヲ云フ又タ諸般ノ職務ヲ為シタル者トハ樞  
要ノ職務ニ非ラサル會計輜重書記等ノ職務ヲ為  
シタル者ヲ云フ此等ノ者ハ内亂ヲ起スニ其一部  
ヲ助ケタル者ナレハ其罪輕カラスト雖モ前項ノ  
者ニ比スレハ其情稍輕シ故ニ其情重キ者ハ重禁

獄ニ處シ其情輕キ者ハ輕禁獄ニ處ス

四赦唆ニ乘メ附加隨行シタル者トハ他人ニ煽動セラ  
レ内亂ヲ起スニ附從和同シ別ニ職務ヲ為サス唯  
其黨數トナリ隨行シタル者ヲ云フ又タ指揮ヲ受  
ケ雜役ニ供シタル者トハ運輸ヲ為スノ人夫等一  
切ノ雜事ノ使役ニ服シタル者ヲ云フ此等ノ者ハ  
前數項ノ犯人ニ比スレハ其情一層輕シ故ニ其情  
狀ヲ量リ之ヲ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス  
但、他ノ強迫ニ因リ隨行シタル者ハ此限ニ非ス  
抑モ以上ノ犯人ハ之ヲ總則中數人共犯ノ例ニ照セ

ハ其内亂ニ與シ兵器ヲ弄シ現ニ罪ヲ犯シタル者ナ  
レハ皆正犯ヲ以テ論シ各自ニ其刑ヲ科シ其兵器金  
穀ヲ資給シタル者ハ從犯ヲ以テ論シ一等ヲ減スヘ  
キ者トス然ルニ此條其罪ノ輕重ニ依リ別ニ處斷ノ  
法ヲ設クル所以ハ若シ各自ニ其刑ヲ科スル時ハ數  
千萬ノ人ヲ死刑ニ處セサルヲ得ス是レ實際為シ難  
ク且ツ忍ヒ難キノ事ナルヲ以テナリ蓋シ本條ハ數  
人共犯ノ變例ナリトス

第百二十二條

内亂ヲ起スノ目的ヲ以テ兵器彈藥船舶金穀其他軍備

ノ物品ヲ劫掠シタル者ハ已ニ内亂ヲ起シタル者ノ刑  
ニ同シ

註本條ハ未タ兵ヲ舉ケ内亂ヲ起サスト雖氏前條ニ記

載シタル所ノ内亂ヲ起スノ目的ヲ以テ官有又ハ私  
有ノ兵器彈藥船舶金穀其他軍備ノ物品ヲ劫奪掠取シ  
タル者ハ已ニ内亂ヲ起シタル者ト同視シ前條ノ區  
別ニ從ヒ各其刑ヲ科スルヲ云フ是レ恰モ内亂ノ初  
歩ニシテ已ニ内亂ヲ起スノ目的ヲ以テ着手シタル  
者ナレハ其所為内亂ヲ起シタル者ト殆ント同一ノ  
危険アルヲ以テナリ

刑罰法 卷之三 第百二十三條

政府ヲ變亂スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ舉ルニ至ラスト雖モ内亂ト同ク論シ其赦唆者及ヒ下手者ヲ死刑ニ處ス

〔註〕本條ハ政事ノ方向ヲ變更壞亂スルヲ目的ト為シ權威ヲ有スル要路ノ大臣又ハ其他ノ人ヲ謀殺シタル者ノ處斷法ヲ示ス是レ第百二十一條ニ示ス所ノ政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スルコトヲ目的トナス者トハ其事蹟稍異ナリト雖モ其目的タル政府ヲ變亂セントスル者ナレハ純粹ノ國

事犯ニシテ且ツ其害ノ及フ所淺少ナラス故ニ未タ兵ヲ舉クルニ至ラスト雖モ内亂ノ罪ト同シク論シ即チ第百二十一條ノ區別ニ從ヒ之ヲ處斷ス

第百二十四條

前三條ノ罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ科ス

〔註〕本條ハ前三條ニ掲クル國事犯罪ハ未タ其目的ヲ遂ケサル時ト雖モ已ニ遂ケタル者ト同一ノ刑ニ處スルノ特例ヲ示ス

第百二十一條ノ罪ハ固ヨリ未遂犯ノ時ニ於テ之ヲ罰スルノ法トス何トナレハ内亂ヲ起シタル者已ニ

其目的ヲ遂ケタル時ハ現政府ハ或ハ顛覆シ或ハ其威權ヲ失シ犯人代テ其權ヲ掌握スルヲ以テ之ヲ罪トシ罰スルヲ得サレハナリ故ニ第百二十一條ノ罪ハ内亂ヲ起シタルノミヲ以テ一個ノ犯罪即チ已遂ト為シ之ヲ罰ス而シテ本條ニ於テ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ科ストアルハ内亂ヲ起サントシテ未タ遂ケサル者ヲ云フ第百二十二條ノ罪モ亦タ其劫奪掠取ヲ為シタルヲ以テ一個ノ犯罪即チ已遂犯ト為シ第百二十三條ノ罪ハ其謀殺シタルヲ以テ一個ノ犯罪即チ已遂犯ト為ス故ニ此三條ノ罪ヲ犯

サントシテ已ニ其事ヲ行フテ未タ遂ケサル時ト雖モ已ニ遂ケタルト同一ノ刑ヲ科ス夫レ通常ノ未遂犯ハ已遂犯ノ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減スヘキ者トス然ルニ前各條ノ罪未タ遂ケサル時ニ於テ本刑ヲ科スル所以ハ是等ノ罪ハ全國ノ安危ニ關スルヲ最モ重大ナルヲ以テ深ク其將來ヲ警戒セシメン為メ之カ處分ヲ嚴ニスル者ナリトス

第百二十五條

兵隊ヲ招募シ又ハ兵器金穀ヲ準備シ其他内亂ノ豫備ヲ為シタル者ハ第百二十一條ノ例ニ照シ各一等ヲ減

ス

内亂ノ陰謀ヲ爲シ未タ豫備ニ至ラサル者ハ各二等ヲ減ス

〔註〕本條ハ總則第百十一條ニ記載スル所ノ罪ヲ犯サン  
トテ謀リ又ハ其豫備ヲ爲スト雖モ未タ其事ヲ行ハ  
サル者ヲ處分スルノ例外法ナリ

前項ハ總則第百十一條ニ所謂豫備ヲ爲スト雖モ未  
タ其事ヲ行ハサル者ニシテ内亂ヲ起サン爲ノ兵隊  
ヲ招募シ銃砲彈藥等一切ノ兵器及ヒ金銀米穀ヲ準  
備シ其他内亂ノ豫備ヲ爲スト雖モ未タ兵ヲ舉ケサ

ル者ハ第百二十一條ノ區別ニ從ヒ首魁及ヒ教唆者  
以下各本刑ニ一等ヲ減ス

後項ハ總則第百十一條ニ所謂罪ヲ犯サント謀ル者  
ニシテ即チ内亂ヲ起サント決心シ陰カニ其事ヲ謀  
ルモ未タ兵隊ヲ招募シ銃砲彈藥等一切ノ兵器及ヒ  
金銀米穀ノ準備其他内亂ノ豫備ヲ爲スニ至ラサル  
者ハ前項ノ者ニ比スレハ其罪蹟微小ニシテ其危害  
モ亦タ淺少ナリ故ニ第百二十一條ノ區別ニ從ヒ首  
魁者教唆者以下各本刑ニ二等ヲ減ス  
夫レ通常犯罪ノ陰謀豫備ノ所爲ハ其罪ヲ問ハサル

者ナリ然ルニ本條内亂ニ關スル罪ハ其陰謀豫備ノ所爲モ之ヲ罰シ僅カニ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減スル所以ハ内亂ニ關スル罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ科スルヲ以テ陰謀豫備ノ所爲モ之ヲ罰ス加之ナラス總則ニ説明スル如ク國事犯ノ陰謀豫備ハ其罪蹟ヲ證明シ易ク且ツ國ノ安危ニ關スル重大ナルヲ以テ深ク將來ヲ豫防スル為メ之カ刑ヲ嚴ニスル者トス

第百二十六條

内亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ為スト雖モ未夕其事ヲ行ハサ

ル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

註本條ハ總則第百八十八條ニ記載スル自首ノ例外法ノ

一ナリ蓋シ通常犯ノ自首減輕ハ第百八十五條ニ定ムル如ク罪ヲ犯シ事未夕發覺セサル前ニ於テ官ニ自首スル者ハ本刑ニ一等ヲ減スルノ法ナリ然ルニ此條内亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ為スト雖モ自首シタル者ハ本刑ヲ免シ止テ監視ニ付ス此レ其例外法ナリ而シテ此條自首免刑ヲ得ルニ二個ノ要領アリ其一未夕其事ヲ行ハサル前ニ於テ自首スルヲ要ス其二官

ニ自首スルヲ要ス故ニ其事ノ發覺スルト否トヲ問  
ハス此二個ノ要領ヲ具備スルキハ其主刑ヲ全免シ  
止タ監視ニ付ス但シ此條ノ監視ハ重罪又ハ輕罪ニ  
附加スル監視ト其性質ヲ異ニシ即チ主刑ヲ免シタ  
ル者ニ若干ノ期限間監視ニ付スル特別法ナリ而シ  
テ其期限ハ第四十條第二項ノ例ニ依リ其裁判確定  
ノ日ヨリ起算シ且ツ第三十四條第二項ノ例ニ依リ其  
期限間公權ヲ行フヲ停止スヘキ者トス  
抑モ本條自首ノ例外法ヲ設クル所以ハ通常ノ自首  
ハ罪ヲ犯シテ事未タ發覺セサル時即チ犯罪ノ後ニ

アリト雖モ此條未タ其事ヲ行ハサルノ前ニ自首ス  
ルニ因リ社會ノ利益ヲ得ルヲ最モ大ナルヲ以テナ  
リ何トナレハ若シ一旦兵ヲ舉ケ内亂ヲ起シタル時  
ハ其國安ヲ害シ公益ヲ傷フ一ニシテ足ラス然ルニ  
豫備陰謀ヲ為スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ於テ  
悔悟自首シテ其事實ヲ吐露シ其黨與ヲ告知スレハ  
社會ハ其禍害ヲ未然ニ防キ其亂源ヲ未發ニ絶チ以  
テ國ノ安寧ヲ維持スルヲ得レハ則チ其功罪相ヒ償  
フニ足ルト云フテ可ナリ加之ナラス自首全免ノ法  
アレハ一タヒ陰謀豫備ヲ為スモ之ヲ悔悟セシメ且



ツ速ニ其罪蹟ヲシテ發覺セシムルノ利益アリ故ニ  
内亂ニ關スル罪ハ其事タル重大ナリト雖モ本條ニ  
個ノ要領ヲ具備シテ自首スレハ其本刑ヲ全免ス然  
レモ仍ホ監視ニ付スル者ハ其再犯ヲ豫防スル為メ  
ナリトス

第百二十七條

内亂ノ情ヲ知テ犯人ニ集會所ヲ給與シタル者ハ二年  
以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

註 本條ハ前數條ニ記載シタル内亂ノ犯人ニ集會所ヲ  
給與シタル罪ヲ云フ即チ未タ内亂ヲ起サ、ル前ニ

於テ其豫備又ハ陰謀ヲ為スノ情ヲ知り集會ヲ為ス  
ノ場所ヲ貸シ與ヘタル者ハ其利ヲ圖リタルト否ト  
ヲ論セス又タ其事ニ與セスト雖モ止タ其場所ヲ給  
與シタルノミヲ以テ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ  
處ス是レ集會所ヲ給與シタル者ノ如キハ犯人ニ便  
利ヲ與ヘ多少其罪ヲ助成セシ者ナルヲ以テナリ但  
シ内亂ノ後其犯人ヲ藏匿シ若クハ隱避セシメタル  
者ハ第百五十一條ノ例ニ依リ處分ス

第百二十八條

内亂ニ乘シテ人ノ身體財産ニ對シ内亂ノ目的ニ關セ

ナル重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス

〔註〕本條ハ内亂ニ乘シテ他ノ通常ノ罪ヲ犯シタル者ノ處分法ヲ示ス夫レ内亂ノ目的ヲ達センカ為メ人ノ身體財産ニ對シ害ヲ加フルト雖モ別ニ其罪ヲ論セズ第百二十一條ノ區別ニ從ヒ其罪ノ輕重ニ從テ之ヲ處斷スルノミ然レモ内亂ノ機會ニ乘シテ宿怨ヲ報シ若クハ私慾ヲ逞フセンカ為メ殺傷強姦或ハ放火等ノ罪ヲ犯スカ如キ全ク内亂ノ目的ニ關セサル者ハ固ヨリ内亂ノ罪ヲ以テ之ヲ論スヘキ者ニ非ラ

ス故ニ此等ノ罪ハ通常ノ各本刑ニ照シ其罪ヲ論シ内亂ニ關スル罪ト其輕重ヲ比較シ重キニ從テ處斷ス即チ通常ノ罪輕ク内亂ノ罪重ケレハ其重キニ從テ刑ヲ科シ又タ内亂ノ罪輕ク通常ノ罪重ケレハ其重キニ從テ刑ヲ科スル仍ホ數罪俱發ノ例ニ同シ

第二節 外患ニ關スル罪

〔註〕外患ニ關スル罪トハ即チ國ノ外部ノ安寧ヲ害スル罪ニシテ外國ニ與シテ本國ノ安寧ヲ害スル重罪輕罪ヲ云フ

第百二十九條

ナル重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス

〔註〕本條ハ内亂ニ乘シテ他ノ通常ノ罪ヲ犯シタル者ノ處分法ヲ示ス夫レ内亂ノ目的ヲ達センカ為メ人ノ身體財産ニ對シ害ヲ加フルト雖氏別ニ其罪ヲ論セス第百二十一條ノ區別ニ從ヒ其罪ノ輕重ニ從テ之ヲ處斷スルノミ然レ内亂ノ機會ニ乘シテ宿怨ヲ報シ若クハ私慾ヲ逞フセンカ為メ殺傷強姦或ハ放火等ノ罪ヲ犯スカ如キ全ク内亂ノ目的ニ關セサル者ハ固ヨリ内亂ノ罪ヲ以テ之ヲ論スヘキ者ニ非ラ

ス故ニ此等ノ罪ハ通常ノ各本刑ニ照シ其罪ヲ論シ内亂ニ關スル罪ト其輕重ヲ比較シ重キニ從テ處斷ス即チ通常ノ罪輕ク内亂ノ罪重ケレハ其重キニ從テ刑ヲ科シ又タ内亂ノ罪輕ク通常ノ罪重ケレハ其重キニ從テ刑ヲ科スル仍ホ數罪俱發ノ例ニ同シ

第二節 外患ニ關スル罪

〔註〕外患ニ關スル罪トハ即チ國ノ外部ノ安寧ヲ

害スル罪ニシテ外國ニ與シテ本國ノ安寧ヲ害スル重罪輕罪ヲ云フ

第百二十九條

外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又ハ外國ト交戦中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附屬シタル者ハ死刑ニ處ス

〔註〕本條ハ日本人民タル者外國ニ黨與シテ日本國ニ對シ直接ニ兵器ヲ以テ抗敵シ又ハ日本國ト外國ト交戦中日本ノ同盟シタル他ノ外國ニ抗敵シタル者例ヘハ日本國ト米國ト戦時合縱救援ノ盟約ヲ為シ魯國ト兵ヲ交ヘ戦ヲ開クノ時ニ際シ米國ニ對シ抗敵シタル者ノ如キ其他日本國ニ抗敵セスト雖日本國ニ背叛シ敵國ノ兵ニ附屬シ諸般ノ事務ヲ助ケ間接

ニ本國ニ敵シタル者ノ處分法ヲ定ム此等ノ者ハ其罪状ニ因リ多少輕重ノ差等ナキニ非スト雖氏國民ノ義務ニ背キ外國ヲ助ケ自國ノ患ヲ為スニ於テハ其害最モ大ニシテ其罪最モ重シ故ニ之ヲ死刑ニ處ス

第百三十條

交戦中敵兵ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ本國及ヒ同盟國ノ都府城塞又ハ兵器彈藥船艦其他軍事ニ關スル土地家屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス

註 本條ハ日本國ト外國ト交戦ヲ為ス時ニ際シ敵兵ヲ誘導シテ日本領地内ニ進入スルヲ容易ナラシメ若クハ日本國及ヒ同盟國ニ屬スル都府城塞又ハ兵器彈藥船艦其他港口陣營及ヒ軍用品製造所等軍事ニ關スル土地家屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者ノ處分法ヲ示ス是等ノ者ハ前條ニ記スル者ノ如ク外國ニ與シテ自カラ本國又ハ同盟國ニ抗敵シ若クハ敵兵ニ附屬シタルニ非スト雖モ其害ノ及フ所却テ甚シ何トナレハ前條ノ如キハ固ヨリ其罪輕ラス其害小ナラサルモ必シモ直接ニ我全軍ノ勝敗ニ大關係

アルニアラス然ルニ本條ノ如キハ直接ニ我全軍ノ勝敗ニ關シ敵兵ニ利益ヲ與フルヲ大ナリ故ニ前條ト同シク之ヲ死刑ニ處ス

第百三十一條

本國及ヒ同盟國ノ軍情機密ヲ敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ通知シタル者ハ無期流刑ニ處ス  
敵國ノ間諜ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ之ヲ藏匿シタル者亦同シ

註 本條ハ外國ト戦端ヲ開クノ際日本國又ハ同盟國ノ

軍情 即チ海陸軍ノ虛實例ヘハ軍隊ノ勇怯或ハ其舉動及ヒ兵器彈藥糧食船艦城堡等戰備ノ景況

機密 即チ軍事ニ關スル秘密ノ謀議 ヲ知テ之ヲ敵國ニ漏泄シ若クハ海陸軍ノ屯集シタル要害ノ地位又ハ敵軍行進ノ

便利ナル為メ地圖其他書類等ヲ交付シテ内地道路ノ難易ヲ敵國ニ通知シ又ハ敵國ヨリ發遣シタル間

牒ヲ誘導シテ内地ノ形勢ヲ探偵セシメ若クハ之ヲ藏匿シテ本國ノ逮捕ヲ免カレ其探偵ヲ遂クルヲ得

セシメタル者ノ處分法ヲ定ム是等ノ所為ハ我カ軍機ヲ失シ戰略ヲ誤リ為メニ本國ノ敗亡ヲ招クニ至ラシメ敵國ヲシテ勝利ヲ得セシムルノ恐レアルヲ

以テ其危害少カラサレハ其罪情重ク且ツ惡ムヘキ者也然レハ前數條ノ者ニ比スレハ稍輕キ所アリ故ニ無期流刑ヲ以テ之ヲ罰ス

第百三十二條

陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲ為ス者交戦ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其賂遺ヲ收受シテ命令ニ違背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル時ハ有期流刑ニ處ス

註本條ハ外國ト交戦ノ際商工ノ陸海軍ヨリ兵器彈藥

糧食石炭其他一切軍需ニ供スル物品及ヒ城堡陣營軍器ノ製造所其他一切軍事ニ關スル工作ノ請負ヲ

為シタル者密カニ敵國ト謀ヲ通シ又ハ敵國ヨリ賄  
 賂贈遺ヲ收受シテ故サラニ陸海軍ノ命令ニ違背シ  
 テ其物品ノ製造或ハ送致ヲ遲延シ又ハ其建築ヲ警  
 緩スル等種々ノ方法ヲ以テ我カ軍備ノ缺乏ヲ致シ  
 為メニ不利ヲ得セシメ敵軍ノ謀計ヲ助ケタル者ノ  
 處分法ヲ示ス此等ノ者ハ其罪情輕カラスト雖氏前  
 數條ノ者ニ比スレハ其害稍小ナリ何トナレハ之カ  
 為メ未タ必スシモ我軍ノ敗衄ヲ來タス者ト為ス  
 ヲ得サレハナリ故ニ有期流刑ヲ以テ之ヲ罰ス

第百三十三條

外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者ハ有期流刑ニ處ス  
 其豫備ニ止ル者ハ一等又ハ二等ヲ減ス

註 本條ハ前數條ニ定ムル所ト異ニシテ外國ニ對シ戰

端ヲ開キタル者ノ處分法ヲ示ス外國ニ對シ私ニ戰  
 端ヲ開キタル者トハ和親又ハ同盟國若クハ其他ノ  
 外國タルトヲ問ハス日本國ノ未タ交戦セサル所ノ  
 外國ニ對シ軍隊ヲ指揮スル權ヲ有スル者又ハ其他  
 ノ者政府ノ命令ヲ待タス陸海軍ノ兵ヲ發遣シ或ハ  
 黨與ヲ集合シ擅ニ戰鬪ノ端緒ヲ開キタル者ヲ云フ  
 此等ノ者多クハ憂國ノ慷慨心ヨリ出ルト雖モ其所

為タル天皇ノ特有スル興戰ノ權ヲ侵シ政府ヲ大分シテ後如シ加之ナラス怨ヲ外國ニ結ヒ國ノ大患ヲ招クヲ以テ其罪輕カラス然レモ外國ヲ助ケテ本國ヲ害スル者ニ比スレハ其情ノ恕スヘキ所アリ故ニ之ヲ有期流刑ニ處ス其豫備ヲ為スニ止リ未タ戰端ヲ開クニ至ラサル者ハ其情狀ニ因リ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減スル者トス是レ第百十一條ニ示ス所ノ別ニ刑名ヲ記載シ豫備ヲ罰スルノ一例ナリ蓋シ此條其豫備ヲ罰スルモノハ國ノ安危ニ關スル大ナルヲ以テナリ

第百三十四條

外國交戰ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布告シタル時其布告ニ違背シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

註本條ハ局外中立ノ布告ニ違背シタル者ノ處分法ヲ

定ム局外中立トハ甲外國ト乙外國トノ間ニ於テ戰端ヲ開クノ時ニ際シ日本ニ於テ自國ノ利害ニ關係ナキ片ハ其兩國交戰中何レノ國ニモ左祖セス戰局外ニ在テ中立スルノ布告ヲナスヲ云フ而シテ此法ハ萬國公法ニ基ク者ニシテ數多ノ定期アリト雖モ



凡ソ他ノ數國相互ニ交戦シ我國ニ於テ尙外中立スルキハ其一方ノ國ノ為メ地疆ヲ貸シテ軍隊ヲ聚メ軍器製造所ヲ置キ或ハ船艦ヲ鑿造セシメ又ハ兵器彈藥船艦糧食其他一切軍資ニ供スヘキ物品ヲ賣與若クハ貸付シ或ハ尙外國ノ人民之カ為メ使役ヲ受クル等其利益トナルヘキ一ヲ為シ他ノ一方ニ害ヲ加フル一ヲ禁スル者トス然ルニ外國交戦ノ際日本國ニ於テ此布告ヲ為シタル時ニ當リ其布告ニ違背シ一己ノ利益ヲ圖リ一方ノ外國ノ為メ密カニ軍備又ハ軍用ニ供スヘキ物品ヲ賣與若クハ貸付シ若ク

ハ之カ為メ使役ヲ受ケ其他中立ノ布告ヲ破ルヘキ所為アル時ハ他ノ一方ノ外國ハ我國ニ對シ憤怨ヲ懷キ遂ニ我ト彼ト不和ヲ生シ戦端ヲ開クニ至ラシムルノ恐レアリ故ニ此等ノ者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
第百三十五條

此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

〔註〕此章即チ内亂及ヒ外患ニ關スル國事ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ト雖モ刑期滿限ノ後仍ホ監視ニ

付ス此レ其犯罪ノ關スル所重大ニ涉ルヲ以テ再犯ヲ豫防スル為メナリトス

第三章 靜謐ヲ害スル罪

〔註〕靜謐ノ害スル罪トハ前章ニ記スル罪ノ如ク其害ノ及フ所全國ノ治亂安危ニ關スル重大ナル者ニ非ラスシテ啻タ一般ノ平和ヲ擾シ治安ヲ妨ケ政府公權ノ一部ヲ障害スル罪ヲ云フ

第一節 兇徒聚衆ノ罪

〔註〕兇徒聚衆ノ罪トハ兇惡ノ徒多衆ヲハルモノ補聚シテアツメル暴動ヲ謀リ又ハ暴動ヲ為シタル罪ヲ云フ而

シテ其所為内亂ノ罪ト相類似スルカ如シト雖モ其目的ニ於テハ大ニ異ナリ内亂ノ罪ハ第百二十一條以下ニ記スル如ク政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂シ若クハ政府ヲ變更スルヲ以テ其目的トス故ニ其關スル所大ニシテ其害全國ニ係ル兇徒聚衆ノ罪ハ多クハ租稅若クハ徵兵其他行政上ノ法令處分ヲ變更或ハ廢止シ又ハ凶荒ニ乘シテ財産ヲ掠奪シ或ハ賑貸ヲ促カシ其他私怨ヲ報復スルヲ目的トナシ暴動ヲ為ス者ナレ

ハ其關スル所小ニシテ其害ハ一官廳一官吏  
若クハ一地方ニ止マル是レ一ハ國事ニ關ス  
ル罪ニ屬シ一ハ靜謐ヲ害スル罪ニ屬スル所  
以ナリ

第百三十六條

兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ説諭ヲ受クル  
ト雖モ仍ホ解散セサル者首魁及ヒ教唆者ハ三月以上  
三年以下ノ重禁錮ニ處ス附和隨行シタル者ハ二圓以  
上五圓以下ノ罰金ニ處ス

註本條ハ前ニ説ク所ノ目的ヲ以テ兇惡ノ徒多衆ヲ嘯

招集合シテ暴動ヲ為サンコトヲ謀リ未タ其事ヲ行ハ  
サル前ニ於テ官吏ヨリ解散スヘキノ説諭ヲ受ケ仍  
ホ其事ニ背キ解散セス強ヒテ暴動ヲ為サント欲ス  
ル者ノ處分法ヲ示ス是レ其所爲タル陰謀ニ過キス  
ト雖モ既ニ官命ヲ拒ミ且ツ其罪蹟證明ナルヲ以テ  
其罪ヲ罰セサルヲ得ス故ニ首魁及ヒ教唆者ハ其根  
本トナリ他ヲ煽動シタルヲ以テ重禁錮ニ處ス附和  
隨行シタル者ハ只其煽動ニ應シタルノミナレハ其  
情輕キヲ以テ罰金ニ處ス若シ官吏ヲ毆傷シタル時  
ハ第百四十條ノ例ニ依リ處分ス然レモ暴動ヲ為サ

ントヲ謀ルノ際官吏ノ説諭ニ服シ直チニ解散スル者ハ其所為陰謀ニ止マルヲ以テ其罪ヲ論セサル者トス

此章ノ罪モ第百二十一條ニ説明スルト同シク數人共犯ノ變例ニシテ即チ現ニ共ニ罪ヲ犯スト雖モ各自ニ其刑ヲ科セス罪狀ノ輕重ニ因リ之カ刑ヲ定ム

第百三十七條

兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ爲シタル者首魁及ヒ教唆者ハ重懲役ニ處ス其嘯聚ニ應シ煽動シテ勢ヲ助ケタル

者ハ輕懲役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス附和隨行シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

註本條ハ前ニ説ク所ノ目的ヲ以テ兇惡ノ徒多衆ヲ嘯

招集合シテ一揆ヲ起シ府縣廳郡區廳或ハ警察署等ニ喧鬧シテ強訴ヲ為シ或ハ官吏ニ對シ強逼シ又ハ村市ヲ騷亂シテ良民ヲ擾害シ其他種々ノ所業ヲ以テ已ニ暴動ヲ行ヒタル者ノ處分法ヲ定ム此等ノ所為ハ社會ノ靜謐ヲ害スルノ甚シキヲ以テ其暴動ノ主本タル首魁及ヒ教唆者ハ重懲役ニ處シ其嘯聚ニ應シ他ヲ煽動シテ兇行ノ勢力ヲ助ケタル者ニシテ

其情重キ者ハ輕懲役ニ處シ輕キ者ハ第六十九條ノ  
 例ニ依リ一等ヲ減シテ重禁錮ニ處シ其煽動ニ應シ  
 附和隨行シタル者ハ其情輕ク且ツ其人貧夥多ナレ  
 ハ止々罰金ニ處スル者トス但シ暴動ノ際人ヲ毆傷  
 シ家屋財物ヲ毀壞シ田畑山林ヲ損害シ又ハ財物ヲ  
 侵掠シ若クハ之ヲ燒燬スル等ノ所爲アリト雖モ別  
 ニ其罪ヲ論セス只暴動ノ罪ニ處スル者トス

第百三十八條

暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家屋船舶倉庫等ヲ燒燬シ  
 タル時ハ現ニ手ヲ下シ及ヒ火ヲ放ツ者ヲ死刑ニ處ス

首魁及ヒ教唆者情ヲ知テ制セサル者亦同シ

〔註〕本條ハ前條ニ記載シタル兇徒暴動ノ際其勢ニ乘シ

テ人ヲ謀故毆殺シ若クハ家屋船舶倉庫等ニ火ヲ放  
 ツ燒燬シタル時ノ處分法ヲ定ム此場合ニ於テハ首  
 魁又ハ嘯聚ニ應シ煽動シテ勢ヲ助ケタル者若クハ  
 附和隨行シタル者タルトテ問ハス現ニ手ヲ下シ人  
 ヲ殺シ及ヒ現ニ火ヲ放ツ者ノミヲ死刑ニ處ス其他  
 ノ者ハ前條ノ例ニ照シ處斷スル者トス然レモ首魁  
 及ヒ教唆者ニシテ其人ヲ殺シ火ヲ放ツノ情ヲ知テ  
 之ヲ制止セサル者ハ共犯ト看做シ犯人ト同一ノ刑

ニ處ス故ニ其情ヲ知ラサル時ハ本條ノ例ニ依リ其罪ヲ論スルヲ得ス

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

〔註〕官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪トハ官吏正當ナル公務ヲ執行スルニ當リ人民其命令ヲ

抗拒シ之ヲ妨害スルノ罪ヲ云フ是レ即チ政府公權ノ一部ヲ障害スル者ナレハ社會ノ靜謐ヲ擾亂スルノ罪アリトス蓋シ此節ノ罪ハ一人又ハ數人ニテ犯ス場合ニシテ若シ多衆ヲ集合シテ其罪ヲ犯ス時ハ前節ノ兇徒聚衆

ノ罪ノ各本條ニ照シ處斷ス又タ官吏擅ニ其威權ヲ以テ人民ノ自由ヲ妨害スル罪ハ第二百七十六條以下ニ之ヲ掲ク此レ本節ノ罪ト相對スル者ニシテ本節ハ人民ヨリ官吏ニ對シ第二百七十六條以下ハ官吏ヨリ人民ニ對シ犯ス所ノ罪ヲ定ム

第百三十九條

官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五

圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ爲ス可カラサル事件ヲ行ハシメタル者亦同シ

註本條ハ暴行脅迫ヲ以テ官吏ノ命令ヲ拒ム者ノ處分法ヲ示ス抑此條二個ノ注意スヘキ要件アリ其一官吏ノ命令ハ其職務上ニ條ル其ニ暴行脅迫ヲ以テ官吏ニ抗拒スル是ナリ故ニ若シ官吏其職務外ノ事ヲ命令スルキハ之ヲ抗拒スルモ本條ヲ以テ論スルヲ得ス又々命令ヲ抗拒スルモ暴行脅迫ヲ以テセサル時ハ本條ニ照シ其罪ヲ論スルヲ得サル者

トス

官吏其職務ヲ以テトハ官吏正當ニ其管掌スル所ノ事務ヲ執行スルヲ云フ法律規則ヲ執行スルトハ例ヘハ裁判官民事刑事ノ裁判ヲ為シ收稅官吏ノ租稅ヲ徵收スルノ類ヲ云フ行政司法官署ノ命令ヲ執行ストハ地方長官ノ命令ニ依リ酒造検査官ノ酒類釀造高ヲ検査シ若クハ豫審判事ノ命令ニ依リ司法警察官ノ人ヲ逮捕スルノ類ヲ云フ此等ノ場合ニ於テ人民ヨリ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ對シ抗拒シタルハ政府ノ公權ヲ障害シ社會ノ靜謐ヲ擾亂スルヲ

以テ之ヲ罰セサルヲ得ス

暴行脅迫ヲ以テ官吏ノ為ス可カラサル事件ヲ行ハシメタル者トハ例ヘハ獄吏ニ暴行脅迫ヲ加ヘテ囚徒ヲ釋放セシムル等其他強テ官吏ヲシテ不正ノ事ヲ行ハシムル者ヲ云フ此レ前項トハ其罪状同シカラスト雖凡官吏ノ職務ヲ妨害スルニ至テハ異ナル所ナシ故ニ之ヲ同刑ニ處ス

第百四十條

前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

註

本條ハ官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スルニ暴行脅迫ヲ為シ因テ其官吏ヲ毆傷シタル者ノ處分法ヲ定ム此等ノ者ハ毆打創傷ノ罪即チ第百九十九條以下ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ前條ノ罪ト比較シ一ノ重キニ從テ處斷ス

第百四十一條

官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
其目前ニ非スト雖凡刊行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演說



ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

註本條ハ官吏ノ職務上ニ對シ之ヲ侮辱シタル罪即チ

不敬ノ所為アル者ノ罪ヲ示ス

形容ヲ以テ侮辱スルトハ手真似テナリ等ヲ以テスルヲ云

フ言語ヲ以テ侮辱スルトハ罵詈或ハ嘲弄スルヲ云

フ例ヘハ裁判官ノ裁判ヲ言渡ス時訴訟人又ハ傍聽

人等ヨリ拳ヲ舉ケ之ヲ毆ントスルノ形容ヲ為シ或

ハ誹謗惡言ヲ為スノ類是ナリ夫レ官吏正當ノ職務

ヲ行フニ當リ其目前ニ於テ侮辱シタル者ハ官吏ニ

對シ不敬ヲ加フルノミナラス政府ヲ蔑如オカシスル者ナ

レハ固ヨリ凡人ニ對シテ罵詈嘲弄シタル罪ヨリ重  
キ論ヲ缺タス然レモ官吏ノ職務外ニ關スル時ハ第  
四百二十六條第十二項ノ凡人ニ對スル罪ヲ以テ之  
ヲ處斷ス故ニ本條ノ場合ニ於テハ官吏ノ職務上ニ  
條ルト其目前ニ於テスルトトヲ要ス

又タ官吏ノ目前ニ非スト雖モ官吏ノ職務ニ對シ新  
聞雜誌其他刊行ノ文書ヲ以テ惡事醜行ヲ記載シ或  
ハ圖畫ヲ以テ醜態ヲ示シ若クハ公然會場等ニ於テ  
演說ヲ為シ誹毀シタル者ハ其之ヲ世上ニ傳播シ且  
ツ永久ニ存在スルヲ以テ其害小ナラス故ニ事實ノ

有無ヲ問ハス前項ト同一ノ刑ニ處ス

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

〔註〕囚徒逃走ノ罪トハ未決已決ノ罪囚自ラ監獄

ヲ逃走シ又ハ他人之ヲ逃走セシムル為メ器

具ヲ給與シ或ハ其方法ヲ指示シ或ハ囚徒ヲ

劫奪シ或ハ逃走ヲ助ケ又ハ看守者護送者之

ヲ逃走セシメ或ハ看守護送ヲ懈怠シ逃走ヲ

覺ラサル等ノ罪ヲ云フ罪人ヲ藏匿ストハ罪

囚タルヲ知テ之ヲ藏匿若クハ隱避セシメ

又ハ罪ヲ免レシメン為メ其罪トナル可キ物

件ヲ隱匿スルノ罪ヲ云フ此等ノ所為ハ惡人  
ヲ庇保シ為ニ社會ノ安寧ヲ害シ一般ノ靜謐  
ヲ擾スノ罪アリトス

第四百二十二條

已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁  
錮ニ處ス

若シ獄舎鐵具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ為シテ逃走シ  
タル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

〔註〕本條ハ已決ノ囚徒自カラ逃走シタルノ罪ヲ定ム已  
決ノ囚徒トハ重罪輕罪違警罪ヲ分タス已ニ判決ヲ

經テ刑ノ執行ヲ受ケ身體ノ自由ヲ停止セラレタル者ヲ云フ而シテ前項ノ罪ハ已決ノ囚徒獄舎ノ間隙ヲ窺ヒ或ハ看守者護送者ノ怠慢ニ乘シ逃走シタル者ニ係リ後項ノ罪ハ獄舎若クハ手鎖連鎖檻車其他ノ獄具ヲ毀壞シ又ハ看守者護送者等ニ暴行脅迫ヲ為シタル者ニ係ル蓋シ罪囚ハ其身體ヲ束縛セラレ多少ノ苦楚ヲ受テ自由ヲ得ル能ハサルヲ以テ日夜其檢束ヲ免カレントテ欲スルハ固ヨリ常情ナレハ獄舎ノ間隙ヲ窺ヒ獄吏ノ怠慢ニ乘シ逃走スルカ如キハ其情深ク惡ムヘキ者ニ非スト雖氏多少社會ノ

靜謐ヲ害シ且ツ再犯ノ恐レアルヲ以テ之ヲ罰セサルヲ得ス故ニ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス然レ氏獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ逃走シタル者ニ至テハ其情狀惡ムヘキ者ニシテ前項ニ比スレハ其罪重シ故ニ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス若シ逃走ノ後チ更ニ別罪ヲ犯シタル時ハ數罪俱發ノ例ニ照シ一ノ重キニ從ヒ之ヲ處斷ス而シテ其刑ハ第九十五條ノ例ニ依リ之ヲ執行ス但シ無期徒刑ヲ囚徒逃走ノ罪ヲ犯シタル時ハ本條ノ刑ヲ言渡シ別ニ獄則ニ從フテ其懲罰ヲ加フ

第四百十三條

已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト雖氏再犯ヲ以テ論セス其刑期限内再ヒ逃走シタル者ハ再犯ヲ以テ論ス

〔註〕本條ハ已決ノ囚徒逃走ノ罪ハ其刑期限内ニ再ヒ逃走シタル者ニ非サレハ再犯加重ノ例ニ照シ處斷スルヲ得サルヲ示ス夫レ總則再犯加重ノ例ニ據ルキハ已決ノ罪ハ初犯ニシテ逃走ノ罪ハ再犯ヲ以テ論スヘキ者ナリ然ルニ此條已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト雖氏再犯ヲ以テ論セサル者トス是レ蓋シ逃走罪ハ囚禁セラル、ニ因テ生スル罪ニシテ而シテ

之ヲ罰スルハ其原犯アルカ為メナリ然ルニ之ヲ再犯トシテ加重スルキハ原犯即チ初犯ノ刑ニ加重スルト等シキヲ以テナリ然レ氏其刑期限内ニ於テ再ヒ逃走シタル者ハ始テ再犯ヲ以テ論シ本條ノ刑ニ一等ヲ加フヘキ者トス是レ蓋シ逃走ノ罪質ニ於テ再犯ノ情狀ヲ生スルヲ以テナリ

第四百十四條

未決ノ囚徒入監中逃走シタル者ハ第四百十二條ノ例ニ同シ但原犯ノ罪ヲ判決スル時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照シテ處斷ス

註本條ハ未決ノ囚徒逃走シタルノ罪ヲ定ム未決ノ囚徒トハ未タ判決ヲ經ス訊問中留ヲ受クル者ヲ云フ凡ソ未決ノ囚徒逃走シタルト已決ノ囚徒逃走シタルト其罪ニ於テ輕重ナシ故ニ第四百四十二條ノ區別ニ從ヒ同一ノ刑ニ處ス而シテ其逃走ノ罪ハ原犯ノ罪ヲ判決スル時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照シ原犯ノ罪ト比較シ一ノ重キニ從ヒ處斷ス若シ原犯無罪ニ歸スル片ハ止タ逃走罪ノ刑ヲ科ス

第四百四十五條

囚徒三人以上通謀シテ逃走シタル時ハ第四百四十二條

ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

註本條ハ未決已決ノ囚徒三人以上通謀シテ逃走シタル者ノ罪ヲ定ム此等ノ者ハ一人若クハ二人通謀シテ逃走スル者ニ比スレハ其勢力強大ニシテ其害ヲ社會ニ及ホスヲ甚シ故ニ第四百四十二條ノ區別ニ從ヒ各其刑ニ一等ヲ加フ此レ第四百七條ニ掲クル犯人ノ多數ニ因リ刑ヲ加重スルノ一ニシテ即チ特別ノ加重ナリトス

第四百四十六條

囚徒ヲ逃走セシムル為メ兇器其他ノ器具ヲ給與シ又

ハ逃走ノ方法ヲ指示シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ囚徒ノ逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ

〔註〕本條ハ他人ヨリ未決已決ノ囚徒ヲ助ケテ逃走セシメタル罪ヲ定ムル者ニシテ囚徒ノ親屬又ハ朋友等其繫獄セラル、ヲ懲ミ若クハ共犯ノ未タ捕ニ就カサル者其罪ノ發覺センコトヲ恐レ之ヲ逃走セシムル為メ暴行脅迫ヲ為シ又ハ獄舎獄具ヲ毀壞スヘキ兇器其他解脫スヘキ器具ヲ給與シ又ハ逃走ヲ為スノ方法ヲ指示シ其逃走ヲ助ケ犯罪ヲ容易ナラシメタ

ル者ハ未タ逃走ヲ為スニ至ラスト雖氏遂ニ其禍害ヲ起スニ至ラシムルコトアルヲ以テ其情惡ムヘシ故ニ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ其給與指示ニ因テ囚徒ノ逃走ヲ致シタル時ハ其害ヲ社會ニ及ホスコト大ナルヲ以テ之ニ一等ヲ加ヘ處斷スヘキ者トス

第百四十七條

囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ輕懲役ニ處ス

〔註〕本條ハ他人自カラ者守者護送者ニ對シ強カヲ用ヒテ未決ノ囚徒若クハ輕罪以下ノ已決ノ囚徒ヲ劫略奪取シ又ハ暴行脅迫ヲ加ヘ其逃走ヲ助ケタル者ノ罪ヲ定ム此等ノ者ハ前條ノ罪ニ比スレハ其情狀最モ惡ムヘク政府ノ公權ヲ障害シ一般ノ靜謐ヲ擾亂スルヲ甚シ故ニ其刑モ亦々嚴ナラサルヲ得ス若シ前項ノ方法ヲ以テ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒即チ重罪ノ已決ノ囚徒ヲ劫略奪取シ又ハ其逃走

ヲ助ケタル時ハ社會ノ危害ヲ為スノ大ナル輕罪犯ト同視スヘカラサレハ其罪一層重シ故ニ之ヲ輕懲役ニ處スル者トス

第四百十八條

囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者囚徒ヲ逃走セシメタル時ハ亦前條ノ例ニ同シ

〔註〕本條ハ看守者護送者故意ヲ以テ未決又ハ已決ノ囚徒ヲ逃走セシメタル罪ヲ定ム夫レ此等ノ者ハ其職務上囚徒ヲ監護スヘキノ義務アル者ナリ然ルニ賄賂ヲ收受シ若クハ聽許シ其他囑托ヲ受ケ又ハ惡意

ヲ以テ之ヲ逃走セシメタル者ハ其罪狀最モ惡ムヘク前條ノ罪ト別ニ輕重アルナシ故ニ同一ノ刑ニ處スル者トス

第四百十九條

前數條ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

註本條ハ總則第百十三條第二項ニ掲クル輕罪ノ未遂犯ヲ罰スル場合ヲ示ス者ニシテ第百四十二條以下前條ニ記載スル所ノ罪ハ政府ヲ蔑如シ社會ノ靜謐ヲ害スル者ナレハ輕罪ヲ犯サントシテ未タ其目的

ヲ遂ケサル者ト雖モ之ヲ不問ニ措ク可カラス故ニ未遂犯罪ノ例ニ照シ已ニ遂ケタル者ノ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減シテ之ヲ處斷スルナリ

第五百十條

看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス  
若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ條ル時ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

註本條ハ看守者護送者其監護ヲ怠リ未決ノ囚徒又ハ輕罪以下已決ノ囚徒ノ竊カニ獄舎ヲ脱逃シ若クハ



護送ノ途中其逃走スルヲ覺知セサル時ノ罪ヲ定ム  
此等ノ者ハ全ク過誤ニ出タル者ナリト雖モ其職任  
ヲ懈怠スルノ責アリ然レ氏前數罪ノ者ニ比スレハ  
其情輕シ故ニ止テ罰金ニ處ス此條懈怠ニ因リトア  
ルハ最モ眼目ノ字ナリ其職任ヲ懈怠スル所ナク至  
當ノ注意ヲ加ヘタルニ仍ホ逃走シタル時ノ如キハ  
其罪ヲ論セサル者トス  
若シ看守者護送者重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒即  
チ重罪已決ノ囚徒ノ逃走ヲ覺知セサル時ハ其情前  
項ヨリ重シ故ニ第四百四十七條第四百四十八條ニ定メ

タル例ト同シク其刑ヲ嚴ニス

第百五十一條

犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監視ニ付セラレタル者ナ  
ルヲ知テ之ヲ藏匿シ若クハ隱避セシメタル者ハ十  
一日以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以  
下ノ罰金ヲ附加ス  
若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ條ル時ハ一等ヲ  
加フ

註本條ハ罪ヲ犯シ事已ニ發覺シテ官ヨリ追喚スル犯  
罪人又ハ逃走シタル未決已決ノ囚徒及ヒ本刑滿期

ノ後若クハ本刑ヲ免シ止タ監視ニ付セラレタル者  
 タルヲ知テ之ヲ家ニ藏匿シ若クハ道路ヲ指引シ  
 衣食ヲ資給シ他所ニ隠避セシメタル者ノ罪ヲ定ム  
 此等ノ者ハ罪人ヲ助ケ官ノ追喚ヲ妨ケ其刑罰ヲ免  
 カレシメントスル者ナレハ其罪ヲ論セサルヲ得ス  
 然レ氏其情輕シ故ニ十一日以上一年以下ノ輕禁錮  
 ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
 若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒即チ重罪已決ノ  
 囚徒ノ逃走シタルヲ知テ之ヲ藏匿シ若クハ隠避  
 セシメタル者ハ其害稍ク大ナリ故ニ一等ヲ加ヘ之

ヲ處斷ス

此條ノ犯人ヲ輕禁錮ニ處スル所以ハ犯罪人若クハ  
 囚徒ヲ藏匿隠避スルニハ多クハ懸諒懇信ノ情ニ出  
 テ庇隱スル者ニシテ彼ノ從犯又ハ贓物ニ關スル罪  
 ニ比スレハ其情恕スヘキ所アルヲ以テナリ

第百五十二條

他人ノ罪ヲ免カレシメントシテ圖リ其罪證ト爲ル可キ  
 物件ヲ隱蔽シタル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮  
 ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

註本條ハ他人ノ罪ヲ免カレシメントシテ圖リ其犯罪ノ

證蹟ト為ルヘキ物件ヲ隱蔽シタル者ノ罪ヲ定ム例  
 へハ謀故殺ノ罪ヲ犯シタル者ノ為メ其用ニ供シタ  
 ル器具又ハ殺害セラレタル死屍其他證據トナルヘ  
 キ物件ヲ隱匿蔽藏スルノ類是ナリ此等ノ所為ハ犯  
 罪ノ搜索ヲ妨ク審判ノ手續ヲ害スルノ恐レアルヲ  
 以テ之ヲ罰セサルヲ得ス然レモ前條ノ理由ト同シ  
 ク其情輕シ故ニ之ヲ輕禁錮ニ處シ罰金ヲ附加ス

第百五十三條

前二條ノ罪ヲ犯シタル者犯人ノ親屬ニ條ル時ハ其罪  
 ヲ論セス

〔註〕本條ハ罪人ヲ蔽匿シ又ハ隱避セシメ若クハ其罪證

ヲ隱シタル者犯人ノ親屬ナル時ハ其罪ヲ論セサル  
 ヲ示ス此等ノ者ハ例外トシテ罰セサル所以ハ親  
 屬相ヒ容隱スルハ天倫ノ至情自カラ然ラシムル者  
 ニシテ之ヲ罰スルハ却テ道理ニ反スルヲ以テナ  
 リ親屬トハ第百十四條ニ記列シタル者ヲ云フ

第四節 附加刑ノ執行ヲ適ル、罪

〔註〕此節ハ公權ヲ剝奪セラレ又ハ停止セラレタ

ル者私ニ其權ヲ行ヒ及ヒ監視ニ附セラレタ  
 ル者其規則ニ違背シタル罪ヲ云フ此等ノ刑

ハ犯人ノ權利ヲ防制檢束スル為メ設クル法  
ナルニ私ニ其權ヲ行ヒ其規則ニ背キテ執行  
ヲ適ル、キハ社會ノ平和ヲ擾亂スルノ罪アリ  
トス

第百五十四條

公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ停止セラレタル者私ニ  
其權ヲ行ヒタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處  
シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

註本條ハ重罪ノ刑ニ處セラレ終身公權ヲ剝奪セラレ  
タル者又ハ輕罪ノ刑ニ處セラレ公權ヲ行フコトヲ停

止セラレタル者第三十一條ニ記列スル所ノ公權ノ  
一個若クハ數個ヲ私ニ行ヒタル者ノ罪ニシテ此等  
ノ者ハ此條定ムル所ノ刑ニ處スルノ後更ニ其公權  
ヲ剝奪シ又ハ停止スル者トス

第百五十五條

監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背シタル時ハ十五  
日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

註本條ハ重罪中有期徒流刑以下及ヒ輕罪ノ刑期滿限  
ノ後チ監視ニ付セラレタル者又タ死刑及ヒ無期刑  
ノ期滿免除ヲ得テ監視ニ付セラレタル者又タ主刑

刑罰法 卷之三 四十一 二編三章四節

ヲ免シテ止タ監視ニ付セラレタル者又タ假出獄ヲ許サレ特別ニ定メタル監視ニ付セラレタル者其監視規則ヲ遵守セス違背シタル所業アル時ノ罪ニシテ此等ノ者ハ此條定ムル所ノ刑ニ處シタル後々其監視ノ殘期ヲ更ニ受シムル者トス但シ監視ノ方法ハ別ニ規則ノ設アルヘキ者ナレハ爰ニ贅セス此條ノ罪ハ前條ノ罪ニ比スレハ其情輕シ故ニ其刑モ亦自カラ輕シ

第百五十六條

前二條ノ罪ハ其刑期限内再ヒ犯シタル時ニ非サレハ

再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

〔註〕本條ハ第百四十三條ト同主義ナルヲ以テ別ニ細説ヲ要セスシテ明亮ナリ

第五節 私ニ軍用ノ銃礮彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪

〔註〕此節ハ政府ノ許可ヲ得スシテ特ニ陸海軍ノ用ニ供スヘキ銃礮彈藥ヲ私ニ製造シ若クハ販賣シ及ヒ貯蔵スルノ罪ニシテ此等ノ物件ハ固ト人民ノ私造及ヒ私有スヘキ者ニ非サレハ假令ヒ未タ犯罪ノ用ニ供セサルモ或ハ

犯罪ヲ便ニシ或ハ不虞ノ禍害ヲ生スルノ恐  
レアリ故ニ止テ私ニ製造若クハ販賣及ヒ所  
有シタルノミニシテ社會ノ靜謐ヲ害スルノ  
罪アリトス

第百五十七條

官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得スシテ陸海軍ノ用ニ供ス  
ル銃礮彈藥其他破裂質ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月  
以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下  
ノ罰金ヲ附加ス其之ヲ輸入シタル者亦同シ  
前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上一年以下

ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔註〕本條ハ官ノ命令ヲ受ケス又官ノ許可ヲ得スシテ軍

用ニ供スル銃礮彈藥其他破裂質ノ物品ヲ私ニ製造  
シタル者私ニ外國ヨリ輸入シタル者及ヒ私ニ販賣  
シタル者ノ罪ヲ定ム而シテ此等ノ物品ヲ私ニ製造  
スル者ト私ニ外國ヨリ輸入シタル者トハ其危害ヲ  
為ス一ト大ニシテ一般ノ安全ヲ妨ク故ニ之ヲ同刑ニ  
處ス又之ヲ販賣シタル者ハ其情輕シ故ニ製造及  
ヒ輸入シタル者ノ刑期金額ノ半ヲ減ス

第百五十八條

前條ノ罪ヲ犯スト雖凡職工又ハ雇人ニシテ止夕正犯ノ使令ニ供シタル者ハ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

〔註〕本條ハ軍用ノ銃礮彈藥其他破裂質ノ物品ヲ私ニ製造輸入販賣スルノ罪ヲ犯ス者ニ使役セラレシ職工又ハ雇人ノ罪ニシテ此等ノ者ハ總則數人共犯ノ例ニ照セハ即チ正犯ト為シ各自其刑ヲ科スヘキ者トス然レ凡職工雇人ハ止夕給料ノ為メニ正犯ノ使役命令ニ供シタル者ナルヲ以テ之ヲ正犯即チ製造者輸入者及ヒ販賣者ニ比スレハ其情自カラ輕シ故ニ正犯ト同刑ニ處ヒスシテ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

第百五十九條

前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未夕遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

〔註〕本條ハ總則第百十三條第二項ニ定メタル如ク輕罪ノ未遂犯ヲ罰スル場合ヲ示ス者ニシテ前二條ノ罪ハ一般ノ靜謐ニ關シ其危害大ナレハ未夕其目的ヲ遂ケサル時ト雖凡仍ホ已ニ遂ケタル者ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ減シ之ヲ處斷スル者トス

第百六十條

第百五十七條ニ記載シタル物品ヲ私ニ所有シタル者

ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

註本條ハ軍用ノ銃砲彈藥其他破裂質ノ物品ヲ私ニ所有シタル者ノ罪ニシテ此等ノ物品ヲ人民私ニ所有シタル者ハ其危害少ナカラズ然レモ製造輸入若クハ販賣シタル者ニ比スレハ其情輕シ故ニ罰金ノ刑ニ處シ且ツ其物件ハ法律ニ於テ禁制シタル者ナレハ何人ノ所有タルヲ問ハス之ヲ沒收スヘキ者トス

第六十一條

第五十七條ニ記載シタル物品ノ製造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ供ス可キ者ハ何人ノ所有ヲ問ハ

ス之ヲ沒收ス

註本條ハ軍用ノ銃砲彈藥其他破裂質ノ物品ヲ製造スルニ使用シタル器械ニシテ單ニ其用ニ供シ他ノ用ニ供ス可カラサル者ハ犯人ノ所有ニ係ルト他人ノ所有ニ係ルトヲ問ハス悉ク之ヲ官ニ沒收スルトヲ云フ九ノ犯罪ノ用ニ供シタル物件ハ犯人ノ所有ニ係リ又ハ所有主ナキ時ノ外之ヲ沒收スルトヲ得サル者ナリ而シテ此條單ニ其用ニ供スヘキ者ハ云々トアルハ即チ第四十三條ニ所謂別ニ沒收ノ例ヲ定メタル者ハ各其法律規則ニ從フト定メタル者ナリ



第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

〔註〕此節ハ水陸ノ公道及ヒ汽車船舶ノ往來又ハ郵便電信ノ通信ヲ妨害スルノ罪ニシテ此等ノ所為ハ社會ノ公益ヲ害シ一般ノ靜謐ヲ妨クルノ罪アリトス

第百六十二條

道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ往來ヲ妨害シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔註〕本條ハ交通運輸ノ便ヲ妨害スル為メ道路橋梁河溝

港埠ヲ毀損破壞スル罪ヲ云フ凡ソ道路橋梁河溝港埠ハ人民互ニ交通運輸ヲ為スノ要具ニシテ其便否ハ全國ノ經濟ニ關ス然ルニ之ヲ損壞シテ往來ヲ阻過シタル時ハ公眾ノ利益ヲ害スルヲ少カラス故ニ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百六十三條

偽計又ハ威力ヲ以テ郵便ヲ妨害シ若クハ之ヲ阻止シタル者ハ亦前條ニ同シ

〔註〕本條ハ郵便ヲ妨害シテ遲延セシメ若クハ之ヲ阻止

シテ到達セシメサル者ノ罪ニシテ偽計ヲ以テスル  
トハ例ヘハ洪水又ハ一揆騷擾等ニテ前路梗塞セル  
ト詐言シ郵便脚夫ヲ欺キ迂路ヲ取ラシムルノ類威  
カヲ以テスルトハ毆打創傷スヘシト脅迫シ其他暴  
行ヲ爲スノ類是ナリ蓋シ郵便モ亦夕人民日常交通  
上ニ於テ最モ緊要ノ者ナリ然ルニ偽計若クハ威力  
ヲ以テ其送達ヲ妨害シ若クハ阻止シタル時ハ公衆  
ノ便益ヲ害スルニ於テ前條ノ罪ト輕重アルトナシ  
故ニ之ヲ同刑ニ處ス

第百六十四條

電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ條線ヲ切斷シテ電氣ヲ  
不通ニ致シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處  
シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
若シ器械柱木條線ヲ損壞シテ電信ノ妨害ヲ為スト雖  
モ不通ニ至ラサル時ハ一等ヲ減ス

註本條ハ電信ヲ妨害シタルノ罪ニシテ電信局ニ設置  
セル諸器械又ハ電信ノ柱木ヲ毀損破壞シ又ハ電信  
ノ條線ヲ切斷シテ電氣ヲ不通ニ致シタル者ハ前二  
條ニ比スレハ其罪重シ蓋シ電信ハ官民共ニ通信ヲ  
為スニ最モ緊要ノ具ニシテ或ハ騷亂ノ際若クハ物

價ノ高低其他急速ノ事件ヲ報スル等其有益ナルヲ  
舉テ數フ可カラズ實ニ文化ノ國ニ於テ一日モ欠ク  
可カラサル者ナリ然ルニ之ヲシテ不通ニ致シタル  
時ハ社會ノ公益ヲ害スルヲ大ナリ加之ナラス電信  
ハ山間原野等人跡稀疎ノ地ニ架線スレハ之ヲ毀損  
若クハ切斷スルハ甚タ易ク且ツ之ヲ修繕スルモ亦  
タ容易ナラス故ニ其刑ヲ重クシ三月以上三年以下  
ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加  
ス然レ氏若シ器械柱木條線ヲ損壞シテ電信ノ妨害  
ヲ為シタルノミニシテ未タ不通ニ至ラシメサル時

ハ其害小ナレハ其罪自カラ輕シ故ニ前項ノ刑ニ一  
等ヲ減ス但シ此條明記スル所ノ外電信ニ關スル犯  
則ハ總テ電信條例ニ依テ處斷スル者トス

第百六十五條

瀛車ノ往來ヲ妨害スル為メ鐵道及ヒ其標識ヲ損壞シ  
其他危險ナル障礙ヲ為シタル者ハ重懲後ニ處ス

註本條ハ瀛車ノ往來ヲ妨害スルノ罪ニシテ鐵道ヲ損  
壞スルトハ瀛車ノ線路ヲ毀損破壞スルヲ云テ之ヲ  
損壞スル片ハ列車ヲシテ忽チ線路ノ外ニ走出セシ  
ム標識ヲ損壞スルトハ瀛車ノ行止緩急ヲ指示スル

燈火若クハ目印ノ類ヲ毀損破壊スルヲ云フ之ヲ損壞スルキハ兩車忽チ衝突スルニ至ル其他危險ナル障礙ヲ為ストハ例ヘハ木片石塊ヲ以テ線路ニ横フル類ニシテ此ノ如キ障礙ヲ為スキハ瀛車ヲシテ顛覆セシムルノ危険アリ此等ノ所為ハ如何ナル結果ヲ生スルカ豫メ測リ難ケレハ其害實ニ畏ルヘシ故ニ未タ瀛車ヲ顛覆衝突セシムルニ至ラサルモ止タ之ヲ妨害スルノ目的ヲ以テ損壞障害シタルトキハ則チ之ヲ重懲役ニ處ス是レ其罰ヲ嚴ニシテ專ハラ社會ノ危害ヲ豫防スルニ在リトス

此條掲載スル外鐵道ニ關スル犯則ハ鐵道罰則ニ據テ處分スヘキ者トス

第百六十六條

船舶ノ往來ヲ妨害スル為ノ燈臺浮標其他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞シ又ハ詐偽ノ標識ヲ點示シタル者ハ亦前條ニ同シ

〔註〕本條ハ船舶ノ往來ヲ妨害スルノ罪ニシテ凡ノ航海

ノ安寧ヲ保護スル為メ設置スル所ノ燈臺浮標其他ノ標識ヲ故サテニ毀損破壊シ又ハ詐偽ノ標識ヲ點示シ船舶ヲシテ其航路ヲ誤ラシメ若クハ暗礁ニ衝突

突セシムル時ハ覆没破船シテ人命貨財ヲ失スルニ至ル蓋シ此條ハ前條ト同一ノ主義ニシテ只々海陸ノ差別ニ因リ船舶ト瀛車トニ對シ其妨害ヲ為スノ方法異ナルノミ故ニ其罪固ヨリ輕重ナケレハ之ヲ罰スルニ亦々同シク重懲役ノ刑ヲ以テスル者トス

第百六十七條

前數條ニ記載シタル罪其事務ニ關スル官吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタル時ハ各本刑ニ照シ一等ヲ加フ

註本條ハ道路橋梁郵便電信鐵道燈臺浮標等ノ事務ニ關スル官吏及ヒ雇人職工自ラ第百六十二條以下ニ記

載シタル罪ヲ犯シタル時ノ刑ニシテ此等ノ者ハ各其事業ニ於テハ或ハ之ヲ管掌シ或ハ之ニ從事シ其安全ヲ保護スルノ義務アルモノトス然ルニ其義務ニ背キテ自カラ妨害ヲ為スカ如キハ其情狀最モ惡ムヘク固ヨリ常人ト同視スヘキ者ニ非ス故ニ常人犯ス所ノ各本刑ニ照シ一等ヲ加ヘ之ヲ處斷スル者トス

第百六十八條

第百六十二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ殺傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

註第百六十二條ハ社會ニ對シ危害タルヘキ所為ニ係  
 リ本條ハ道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ往來ヲ妨害  
 シ因テ人ヲ殺傷シタル者ノ罪ニシテ其人ヲ害スル  
 意思ノ有無ヲ問ハス現ニ殺傷シタル時ハ則チ第ニ  
 百九十九條以下殴打創傷ノ各本條ニ照シ殴打創傷  
 ノ罪重キ時ハ各其本條ニ依リ處斷シ往來ヲ妨害ス  
 ル罪重キ時ハ第百六十二條ニ照シテ處斷ス此レ蓋  
 シ往來ヲ妨害シタルニ因リ人ヲ殺傷ニ至ラシメタ  
 ル者ハ固ヨリ之ヲ不問ニ付スルヲ得ス然レモ豫  
 謀及ヒ故意アル者ニ非サレハ謀故殺ノ罪ヲ以テ之

ヲ論スルヲ得ス又已ニ罪ヲ犯スノ意アルモノナレ  
 ハ過失殺傷ヲ以テ其罪ヲ論スルヲ得ス故ニ殴打  
 創傷ノ罪ヲ以テ之ヲ論シニ罪俱發ノ例ニ依リ一ノ  
 重キニ從ヒ其罪ヲ處斷ス可キ者トス何トナレハ罪  
 ヲ犯スノ意アルニ因リ為メ二人ヲ害スルヲ以テナ  
 リ

第百六十九條

第百六十五條第百六十六條ノ罪ヲ犯シ因テ瀛車ヲ顛  
 覆シ又ハ船舶ヲ覆没シタル時ハ無期徒刑ニ處シ人ヲ  
 死ニ致シタル時ハ死刑ニ處ス

註第百六十五條第百六十六條ハ漁車又ハ船舶ノ往來  
 ヲ妨害シタルノミノ罪ニシテ本條ハ漁車又ハ船舶  
 ノ往來ヲ妨害スルノ罪ヲ犯シ因テ之レヲ顛覆シ又  
 ハ覆没シタルノ罪ヲ云フ此等ノ罪ハ前條ニ比スレ  
 ハ其害實ニ甚シク其情最モ重シ何トナレハ數多ノ  
 人命ヲ失ナヒ巨萬ノ財貨ヲ損スルヲ以テナリ故ニ  
 止タ顛覆又ハ覆没シタルノミニテモ之ヲ無期徒刑  
 ニ處シ若シ人ヲ死ニ致シタル時ハ死刑ニ處スル者  
 トス  
 但シ内亂若クハ外患ノ際ニ於テ其罪ヲ犯ス為メ又

ハ之ヲ助クル為メ此節ノ罪ヲ犯シタル者ハ仍ホ内  
 亂ノ罪ヲ以テ論シ前數條ノ刑ニ處ス

第百七十條

此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル  
 者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

註往來通信ヲ妨害スル罪ハ社會ノ公益ヲ損シ一般ノ

靜謐ヲ害スルヲ大ナル者ナレハ輕罪ヲ犯シ未タ其  
 事ヲ遂ケサル時ト雖モ仍ホ第百十二條第百十三條  
 ノ例ニ照シ己ニ遂ケタル者ノ本刑ニ一等又ハ二等  
 ヲ減シ其罪ヲ處斷スヘキ者トス

第七節 人ノ住所ヲ侵ス罪

〔註〕人ノ住所ヲ侵ス罪トハ元來家宅ハ各人平常住居棲息スル所ニシテ何人タリモ主人ノ許諾ヲ得スシテ之ヲ侵ス可カラサルハ法律ノ原則ナリ然ルニ猥リニ人ノ住所ニ侵入スル者ハ假令ヒ他ノ罪ヲ犯サスト雖モ人民ノ安寧ヲ妨ケ社會ノ靜謐ヲ害スルヲ以テ其罪ヲ論セサルヲ得ス若シ人ノ住所ニ侵入シテ強竊盜放火殺傷又ハ脅迫ノ罪ヲ犯サントシタルキハ各本條ニ照シ其罪ヲ論シ此節ノ罪ハ

問フヘキ者ニ非ラス本節ハ故ナク人ノ住所ニ侵入スル者ハ其罪ヲ犯スノ目的如何ヲ問ハス之ヲ罰スル者ニシテ要スルニ社會ノ靜謐ヲ維持シ其危害ヲ防止スル為メ之ヲ罰スル者トス

第七十一條

晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入りタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス  
若シ左ニ記載シタル所為アル時ハ一等ヲ加フ



一 門戸牆壁ヲ踰越損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キテ入りタル時

二 兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ携帯シテ入りタル時

三 暴行ヲ為シテ入りタル時

四 二人以上ニテ入りタル時

註 本條ハ晝間人ノ住所ニ侵入シタル者ノ罪ニシテ晝間即チ日出後日没前ニ於テ人ノ住居シタル邸宅内又ハ神社佛閣學校病院若クハ製造所等人ノ看守シタル建造物内ニ故ナク侵入シタル者ハ其罪ヲ犯ス

ノ目的如何ヲ問ハス十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス但シ此場合ニ於テハ夜間人ノ住所ニ侵入シタル罪ニ比スレハ其情自カラ輕ク故ニ其刑モ亦タ從テ輕シ何トナレハ晝間ハ近隣又ハ官ニ報告シテ其救援ヲ請ヒ之ヲ防禦スルニ容易ナルニ因リ其危害ノ小ナルヲ以テナリ然レモ之ニ附帶スル情狀即チ本條記列スル四個ノ所為ノ内一個若クハ數個アル片ハ其情惡ムヘク且ツ之ヲ防禦スルニ難クシテ其危害ノ稍ク大ナルヲ以テ前項ノ刑ニ一等ヲ加重シテ之ヲ處斷スル者トス

又タ此條故ナク人ノ住居シタル及ヒ看守シタルノ  
 字最モ注意ヲ要ス若シ故アル時例ハ酩酊ニ因リ或  
 ハ迷誤ニ出テ或ハ訪尋ノ為メ等ニテ人ノ住所ニ入  
 リタル者ハ本條ニ依リ之ヲ罰スルヲ得ヌ又タ人  
 ノ住居セサル邸宅及ヒ人ノ看守セサル建造物ニ故  
 ナク侵入シタリト雖モ本條ニ依リ其罪ヲ問フヘキ  
 者トス

第一百七十二條

夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル  
 建造物ニ入りタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ

處ス

若シ前條ニ記載シタル加重ス可キ所為アル時ハ一等  
 ヲ加フ

註

本條ハ夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅内又ハ人ノ  
 看守シタル建造物ニ侵入シタル罪ニシテ前條ニ比  
 スレハ其刑一層重シ何トナレハ夜間ハ他ノ救援ヲ  
 求ムルコト容易ナラス從テ之ヲ防禦スルニ難キヲ  
 以テ其危害大ナレハ其情モ亦タ自カラ重キヲ以テ  
 ナリ故ニ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ若シ之  
 ニ附帶スルノ情狀即チ前條ニ掲載スル所ノ第一ヨ

リ第四ノ所為ノ内一個若クハ數個アル時ハ首項ノ刑ニ一等ヲ加フヘキ者トス

第百七十三條

故ナク皇居禁苑離宮行在所及ヒ皇陵内ニ入リタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

註本條ハ故ナク皇居禁苑離宮行在所及ヒ皇陵内ニ侵入シタル罪ニシテ凡ソ人民ノ家宅内ト雖モ猥リニ侵入スルハ法律ノ禁スル所ナリ況ンヤ此等ノ場所ハ人民猥リニ侵入スヘカラサル者ナリ然ルニ故ナク此等ノ場所ニ侵入シタル者ハ皇權ヲ蔑如シ尊嚴

ヲ毀損スルハ甚シク前條ノ罪ニ比スレハ其情重シ故ニ前二條ノ區別ニ從ヒ其本刑ニ一等ヲ加ヘテ處斷ス

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪

註此節ハ官署ノ命令ヲ以テ家屋倉庫等ニ為シタル封印ヲ私ニ破毀シ公益ヲ害シ靜謐ヲ擾ルノ罪ニシテ其犯人ノ看守者ナルト常人ナルトヲ以テ其罪ヲ區別シ又タ看守者ノ故意ト懈怠ヲ以テ其罪ヲ區別ス

第百七十四條

官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ看守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ

註本條第一項ハ人民官ノ封印ヲ破毀シタルノ罪ニシテ官署ノ處分ニ因リ云云トハ行政官署又ハ裁判所ノ權ヲ以テ分散人若クハ犯罪人ニ關スル書類財産ノ散逸ヲ防ク為メ特別ニ其家屋倉庫其他物件ニ為シタル封印ヲ云フ此等ノ封印ヲ破棄スル片ハ其書類財産ヲ紛失シ又ハ消費シ微償及ヒ審判上大ニ損

害ヲ生スルノ恐アリ故ニ止タ封印ヲ破毀シタルノミヲ以テ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二項ハ看守者自カラ官ノ封印ヲ破棄シタルノ罪ニシテ看守者ハ之ヲ監護スルノ責任ヲ受ケ其義務ニ背キ故意ヲ以テ自カラ之ヲ破棄シタル片ハ其罪常人ヨリ重シ故ニ一等ヲ加ヘテ之ヲ處斷ス

第百七十五條

官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ盜取シ又ハ毀壞シタル者ハ盜罪及ヒ毀壞ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス註本條ハ看守者ト常人タルトヲ問ハス官署ノ處分ニ

因リ特別ニ家屋倉庫其他箱函等ニ為シタル封印ヲ破棄シテ其内ニ在ル書類財産ヲ盜取シ又ハ毀壞シタル者ノ罪ニシテ此場合ニ於テハ封印ヲ破棄シタル罪ト盜取シ又ハ毀壞シタル罪ト比較シ數罪俱發ノ例ト同シク一ノ重キニ從ヒ其罪ヲ處斷ス盜取シタル者トハ即チ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ竊取シタルハ第三百六十八條ニ照シ又之ヲ強奪シタル時ハ第三百七十八條ニ照シ若シ看守者自カラ盜取シタル時ハ第二百八十九條ニ照シ其罪ヲ論ス又タ毀壞シタル者トハ即チ封印ヲ破棄シテ人ノ權利義務

ニ關スル證書類ヲ毀棄シタル時ハ第四百二十四條ニ照シ又タ人ノ器具物件ヲ毀壞シタル時ハ第四百二十一條ニ照シテ其罪ヲ論スルヲ云フ

第百七十六條

看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ其物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

註本條ハ官ノ封印ヲ破棄シ又ハ其物件ヲ盜取毀壞スル罪ヲ犯ス者アル時看守者之ヲ覺知セサルノ罪ニシテ看守者ハ之ヲ保護スルノ責任アル者ナリ然ル

ニ其職務ヲ懈怠シテ之ヲ破棄セラレ若クハ盜取セラレ又ハ毀壞セララル、カ如キハ其責任ヲ盡サ、ルノ罪ナシトセス然レモ故意ニ出ル者ニ非サレハ其情大ニ輕シ故ニ第百五十條第一項ノ權衡ト同シク罰金ノ刑ニ處ス但シ充分其任ヲ盡シ懈怠ノ狀ナキ時ハ本條ヲ以テ論スルコトヲ得ス

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪

〔註〕此節ハ當然行フヘキ職務又ハ官署ノ命令ニ背キ之ヲ行フヲ肯セス為ニ公益ヲ害シ靜謐ヲ擾ルノ罪ヲ云フ

第百七十七條

陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スル權アル官署ヨリ其要求ヲ受ケ故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔註〕本條ハ陸海軍ノ兵隊ヲ指揮スル權ヲ有スル將校即チ鎮臺營所及ヒ鎮守府等ノ司令長官憲兵ノ指令官タル者等地方騷擾ノ際地方長官警視長官若クハ檢事其他兵隊ヲ要求スルノ權アル官吏ヨリ兵權ヲ以テ之ヲ鎮撫スル為メ出兵ノ要求ヲ受ケタル時ニ當

リ事故ナクシテ兵ヲ出サ、ル者ノ罪ニシテ若シ此等ノ場合ニ於テ故ナク其要求ニ應セサル時ハ兇惡ノ徒忽チ蔓延シテ良民ヲ損害スルノ少ナシトセス故ニ公務ヲ行フヲ拒ムノ罪アリトス然レ此ノ罪ハ官吏ノ職務上ニ關スルノ罪ナレハ他ノ犯罪ト其情恕スヘキ所アルヲ以テ定役ニ服スルノ刑ヲ科セス之ヲ輕禁錮ニ處シ罰金ヲ附加ス而シテ此條故ナクノ字注意ヲ要ス若シ故意ヲ以テ之ヲ肯セサルハ共犯ヲ以テ其罪ヲ論シ本條ヲ以テ處斷スヘキ者ニ非ラス

第七十八條

陸海軍ノ徵兵ニ編入セラル可キ者身體ヲ毀傷シテ疾病ヲ作為シ其他詐偽ノ所為ヲ以テ免役ヲ圖リタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
若シ他人ニ囑託シ其氏名ヲ詐稱シ代テ徵募ニ應セシメタル者亦同シ其囑託ヲ受ケテ徵募ニ應シタル者ハ第二百三十一條ノ例ニ照シテ處斷ス  
註本條ハ陸海軍ノ徵募ニ應シ其兵籍ニ編入セラルヘキ者自カラ其身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作為シ其他詐偽

ノ所爲ヲ以テ兵役ノ免除ヲ圖リタル者ノ罪ニシテ  
身體ヲ毀傷スルトハ例ヘハ故ラニ右手ノ食指ヲ切  
斷スル者ノ類疾病ヲ作為シトハ強壯ノ者故ラニ病  
ニ罹ルノ状ヲ申シ其他詐偽ノ所爲トハ汎ク指示ス  
ルノ語ニシテ例ヘハ發狂痴呆若クハ聾啞者ト為ル  
ノ類ニシテ法律上豫シメ指定シ難キ所爲ヲ云フ蓋  
シ兵役ハ國民タル者ノ公義務ナリ然ルニ忌避シテ  
兵役ヲ免カレント欲スルハ其義務ニ背キ之ヲ行フ  
ヲ拒ムノ罪アリトス故ニ之ヲ一月以上一年以下ノ  
重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加シ

仍ホ刑期滿限ノ後チ兵役ニ服セシム者トス若シ疾  
病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ第二百十六條  
ニ照シ處斷ス若シ已レノ免役ヲ圖リ他人ニ囑託シ  
テ自己ノ氏名ヲ詐稱セシメ代テ徵募ニ應セシメタ  
ル者モ其情前項ノ者ト異ナルトナシ故ニ同一ノ刑  
ニ處ス又其囑託ヲ受ケテ代テ徵募ニ應シタル者ハ  
其情少シク輕シ仍テ第二百三十一條ノ例ニ照シ處  
斷ス

第七十九條

醫師化學家其他職業ニ因リ官署ヨリ解剖分析又ハ鑑



定ヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔註〕本條ハ人民故ナク官署ノ命令ニ背キ之ヲ遵守セサルノ罪ニシテ醫師化學家其他職業ニ因リ云々トハ裁判所ヨリ醫師ニ命シテ毒殺ノ死屍ヲ解剖セシメ又ハ化學者ニ命シテ偽造ノ貨幣ヲ分析セシメ又ハ書家ニ命シテ書蹟ノ眞實ヲ鑑定セシメ又行政官署ヨリ學藝アル者若クハ商人等ニ命シテ物品或ハ器械等ノ良否ヲ鑑定セシムルノ類ヲ云フ蓋シ官署ノ命令ハ人民之ヲ遵奉ス可キノ義務アリ然ルニ其命

ヲ受ケ之ヲ肯セサル時ハ行政又ハ裁判上事務ノ障害少ナカラス故ニ公務ヲ行フヲ拒ムノ罪アリトシ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス但シ此條ハ故ナクシテ其命ヲ肯セサル者ニシテ若シ公務ヲ免カル、為メ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ第二百十五條ニ照シテ處斷シ又々裁判所ノ呼出ニ應セサルノミナル時ハ治罪法第百九十二條ノ規則ニ從ヒ止タ罰金ヲ言渡スノミ

第百八十條

裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳述スルヲ命セラレ

タル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ亦前條ニ同シ

〔註〕本條ハ證人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者其陳述ヲ肯セサル時ノ罪ニシテ自己ノ見聞シタル事件ニ付裁判所ノ呼出ニ應シ其證據ヲ陳述スルモ亦外國民ノ義務ナリトス然ルニ正當ノ事故ナクシテ其陳述ヲ肯セサル時ハ審判上ノ障害ヲ為スヲ以テ公務ヲ行フヲ拒ムノ罪アリトス而シテ証人ハ前條ノ者ト其性質相似タル者ナレハ其罰モ亦タ同一ノ刑ニ處スル者トス但シ此條モ亦タ故ナクシテ其命ヲ肯セサル者ニシテ若シ公務ヲ免カル、為メ疾病ノ證

書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ第百十五條ニ照シテ處斷シ又裁判所ノ呼出ニ應セサルノミナル時ハ治罪法第百七十六條ノ規則ニ從ヒ止タ罰金ヲ言渡スノミ

第百八十一條

傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ檢査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス  
獸類傳染病流行ノ際獸醫此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ一

等ヲ減ス

〔註〕本條ハ或ル地方ニ於テ傳染病ノ流行スル際ニ當リ  
 又ハ傳染病者ヲ乗載シタル疑アル船舶入港フルニ  
 當リ行政官署ヨリ醫師ニ命シテ其病患ヲ検査シ又  
 ハ其病毒ヲ消滅スルノ方法ヲ陳述セシムルニ事故  
 ナクシテ之ヲ肯セサル時ノ罪ニシテ前二條ニ比ス  
 レハ其刑一層重シ凡ソ各種ノ傳染病流行スルヤ一  
 且其豫防ノ術ヲ失スレハ其危害タル極メテ大ニシ  
 テ其慘毒最モ劇シ之ヲ救治スルハ實ニ醫師タル者  
 ノ公義務ニシテ決シテ忌避ス可カラサル者ナリ然



ルニ事故ナクシテ其命ヲ遵守セサル時ハ官命ヲ蔑  
 視スルノミナラス為メニ其病毒ヲシテ忽チ蔓延セ  
 シムルニ至ルノ恐レアリ故ニ五圓以上五十圓以下  
 ノ罰金ニ處ス

若シ獸類傳染病流行ノ際其病患ヲ検査シ又ハ其病  
 毒消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ行政官署ヨリ獸醫ニ  
 命シタルニ事故ナクシテ其命ヲ肯セサル時ハ其害  
 前項ニ比スレハ小ナリト雖氏之カ救治ノ方法ヲ遲  
 延スレハ為メニ數多ノ獸畜ヲ斃スニ至ルノ恐レア  
 リ故ニ一等ヲ減シテ之ヲ處斷ス

刑 法 第 九 章 第 三 節 二 編 三 章 九 節

